

インターホン改修時の不便を解消

2重配線不要の並行運転システム

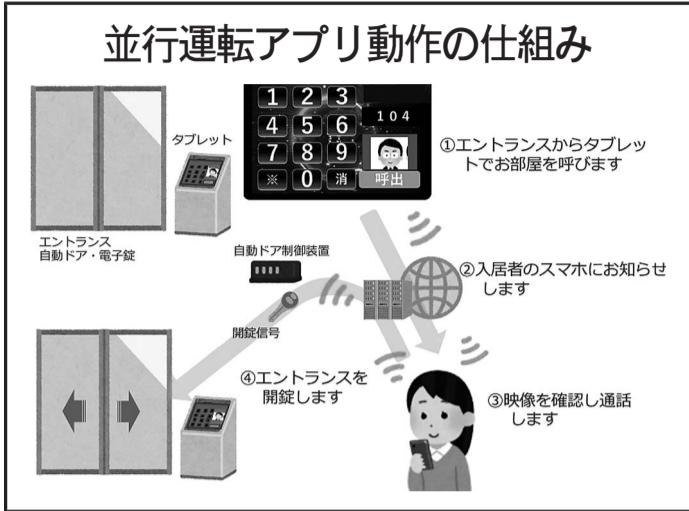
タブレットを集合玄関機、スマホをインターホン代わりに

インターホン交換工事が盛んに行われている。工事手順としてはエントランスの集合玄関機を新しい機種に入れ替えたのち、各部屋のインターホンの交換が行われる。交換が終了するまで、エントランスからは各部屋の呼び出しがでなくなる。その不便さの解消には現行の配線とは別にもう一本の配線、つまり2重配線が必要だった。多額の費用がかかるため、これまで2重配線をせずに施工するのが大半で住民にいわば我慢を強いていたのが実態だ。だが、もうその我慢も不要のようだ。配線不要のタブレットを集合玄関機、スマホをインターホン代わりに使用する並行運転システムが発売され、話題を集めている。

ネスぺが開発 コスト大幅削減

タブレットを使用し日程調整サービスで好まれたインターホン改修並行運転システムを開発している会社は、特にインターホンは安全性を考慮してエントランスのオートロック機能はそのままで施工が進められる。インターホンの交換が終了するまでは、居住者から住民の不便さ解消のために新・旧のインターホンを並行利用できるように2重配線化を提案する場面もあるが、わざわざエントランスまで降りて開錠すること約1万5000円プラスとなる。宅配便や出前屋の鍵を渡していなければ極めて少ない。

これまで施工者側から住民の不便さ解消のために新・旧のインターホンを並行利用できるように2重配線化を提案する場面もあるが、わざわざエントランスまで降りて開錠すること約1万5000円プラスとなる。宅配便や出前屋の鍵を渡していなければ極めて少ない。



ネスぺが開発した並行運転システムの操作手順は従来の集合玄関機と同じ。タブレットのテンキーで部屋番号を押すと住民のインターホン代わりにのスマホに接続が行き、住民は映像を確認し通話、開錠ボタンを押すとオートロックが開錠されるシステムだ。料金は月額1台7万円(税抜)と実に安価のレンタル制になっている。使用にあたっては住民は専用アプリをインストールするだけ。ただし、同システムが火報設備などの連携機能を有していない点は注意が必要だ。

施工業者にとっても安価なレンタル料金に加え、取り付けも電源確保やオートロックの開錠信号線との接続(差し込むだけの作業)だけで、ほぼ1時間で済んでしまう。新旧のインターホンを並行で動かす2重配線化だと工事日程も伸び職人の増員も必要となる。職人不足時代、配線不要は施工業者にとっても朗報だ。

住民、施工業者両者にとってハッピーな同システム、インターホン改修工事の標準仕様になりそうだ。

工事期間中もオートロックが使える?

インターホンリニューアルの心強いアイテム

エントランスにタブレットを設置
入居者様のスマホを呼出し
オートロックの開錠が可能です

- ▶ 工事期間中の並行運転の新しい形
- ▶ 設置はたったの1時間
- ▶ 費用は1台7万円~と低コスト

株式会社ネスぺ
お問合せ専用
0120-955-708

※警報連携機能はありません。工事期間中のみの使用を目的としております。